

# 被ばく低減対策好事例集

場所		分類		番号	01-03
原子炉建屋内 (RB)	RB	5	1 時間		
タービン建屋内 (TB)			2 距離		
R ZONE (R)			3 遮へい		
Y ZONE (Y)			4 線源の除去		
G ZONE (G)			5 遠隔、ロボット化		
その他 ( )			6 汚染拡大防止		
			7 その他		
内容	ロボットを使用した重機運転				
作業部位	1/2号機 原子炉建屋外				
概略	2号機原子炉建屋廻りで重機を運転する際、ロボットによる重機運転を行った。				
評価 定性・定量	効果		対策前	対策後	
		被ばく線量(mSv)	3,907	2,189	
		人工数(人日)	--	--	
事例詳細	<p>対策前 原子炉建屋周辺および屋上は比較的高線量率であるため、多くの被ばくが懸念された。</p> <p>対策内容 可能な限り遠隔による重機・ロボット運転を行い、人的作業を最小限とする工夫を行った。</p>				
 <p><b>Sustainable Artificial Muscle → SAM</b></p>		 <p>リモート室より遠隔操作を実施 解体オペレーターが放射線量下の制限を受けることなく十分な作業時間を確保でき被ばく低減に寄与</p>			